

平成31年度学校自己評価システムシート (県立大宮中央高等学校)

目指す学校像	多様な学習システムを提供し、生徒一人一人の自己実現を助け、思いやりのある情操豊かな人間の育成を図る。
--------	--

重点目標	1 自ら学ぶ力や人生を切り拓く力を育成する。 2 地域等と連携し、豊かな心や自立して生きる力を育成する。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	15名

学 校 自 己 評 価							学校関係者評価	
年 度 目 標					平成31年度評価(2月5日現在)		実施日 令和2年2月15日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	【通信制の課程】 ①生徒は積極的に学習に取り組んでいるが、学習に難しさを感じている生徒もいる。 ②卒業後の進路実現のために、外部の教育力の効果的な活用を図り、進路意識を高める必要がある。	①生徒が意欲的、計画的に学習を進められるよう指導法を改善する。 ②生徒が進路希望を実現できるようキャリア教育を改善する。	①生徒が達成感を感じられるように、レポートや授業について、工夫、改善をするとともに、補習等の体制を充実させる。 ②ハローワーク、学習サポーター、若者サポートステーションなどの外部の教育力の活用を図る。	(参考昨年度数値) <input type="checkbox"/> 学習手帳や学習ガイドブック、受講ガイドブックを活用している生徒の割合 85% <input type="checkbox"/> 授業やスクーリングに意欲的に取り組んでいる生徒の割合 85% <input type="checkbox"/> 学力の伸長を実感できた生徒の割合 70% <input type="checkbox"/> 進路実現や高校卒業に向けて積極的に取り組んだ生徒の割合 60% <input type="checkbox"/> 単位修得率の向上 <input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 90%	生徒アンケートの結果、学校に対する満足度は微増、学習における充実度はほぼ横ばいである。 ※①から⑩は3課程の生徒アンケートの数値である。 ①手帳、ガイドブックの活用 83.3%(前年比-1.3) ②授業への意欲的な取組 86.2%(+0.5) ③学力伸長の実感 71.8%(-0.5) ④進路決定への積極的な取組 60.8%(+1.8) ⑩学校満足度(総合) 95.6%(+1.1) ・今年度特に心配された進路指導面について、微増という結果であり、情報提供を含めて生徒の意欲喚起につながった。	B	【通信制の課程】 ①レポートについては改善が進んでいるが、提出状況を含めて、生徒一人ひとりへの連絡方法の検討が必要である。 ②学び直しを含めて、外部の人材活用が進んでいる。より多くの利用が望まれる。	【学校評議員会】 今年度の課題でもある生徒への連絡方法について、意見交換がなされた。2つの通信制課程においては、生徒の登校が少ないことから郵便・ホームページ・電子メールなどの複数の方法を用いて、情報発信に努めた方がよいとの意見が多かった。定時制課程においては登校している生徒が多いため、紙媒体の学校通信なども保護者と生徒が共有できるものとして継続してほしいという意見があった。 【学校評価懇話会】 【通信制】 ・部活動の活躍が目立つ。 ・高卒認定による単位認定。 ・メール配信の効果。 ・学校行事への参加率向上。 ・エアコン・アルコール消毒の整備要望。一足先の検討。 【単位制による通信制】 ・単通メールやHP発信が増えて好評。 ・卒業生の具体的な進路先。 ・連携生の様子。 ・学習サポーター等、支援体制のさらなる充実を。 ・多様なニーズ・学力差に対しての対応の仕方について。 ・本校の周知の広げ方について。 ・自治会との連携について。 【単位制による定時制】 ・安心安全な学校となっている。 ・今後も教育相談体制を継続する。 ・部活動の活性化が目立つ。 ・冷水機を復活させてほしい。 ・購買部、傘立て設置要望。 ・単定ニュースの継続要望。 ・進路資料が豊富で役立つ。 ・学校生活ハンドブックは活用されている。
	【単位制による通信制の課程】 ①レポートの提出ルール等が教科によっては分かりにくく感じている点がある。あわせて、単位修得率の向上について工夫改善が求められる。 ②就職希望者へのきめ細かな対応が奏功した点が見られた。卒業後の自立につながるよう、同様の成功事例が積み重ねられると良い。		①履修指導・受講手続等について他課程と調整し、行事計画を改善する。履修や指導法に関する研修を行い、生徒の適切な履修計画作成・単位修得率向上に生かす。 ②様々な工夫で生徒を募り、文化祭・会誌作成の一体化・活性化を行う。進路便りや掲示板等を活用した進路啓発をし、個別相談を充実させる。	<input type="checkbox"/> 授業やスクーリングに意欲的に取り組んでいる生徒の割合 85% <input type="checkbox"/> 学力の伸長を実感できた生徒の割合 70% <input type="checkbox"/> 進路実現や高校卒業に向けて積極的に取り組んだ生徒の割合 60% <input type="checkbox"/> 単位修得率の向上 <input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 90%	①手帳、ガイドブックの活用 83.3%(前年比-1.3) ②授業への意欲的な取組 86.2%(+0.5) ③学力伸長の実感 71.8%(-0.5) ④進路決定への積極的な取組 60.8%(+1.8) ⑩学校満足度(総合) 95.6%(+1.1) ・今年度特に心配された進路指導面について、微増という結果であり、情報提供を含めて生徒の意欲喚起につながった。		【単位制による通信制の課程】 ①単位修得率は向上している。高卒認定試験合格による単位修得認定の改善効果も期待される。学習ガイドブックは2分冊とも改善した。それらを活用して、さらに修得率の向上を図りたい。 ②中央祭や一部部活動の活性化が見られる。一層の校内活動の活発化と、自立に向けた卒業後の進路実現の充実を図りたい。	
	【単位制による定時制の課程】 ①生徒の学習需要が益々多様化することから、各分掌との連携を一層密にし、きめ細やかな指導を実現する。 ②全職員をあげて進路指導に取り組むとともに就職支援アドバイザーなど多様な人材を活用し、生徒の積極性と進路意識の喚起を図る。		①教科、各分掌と連携して多様な講座を開講する。生徒の希望・需要に応じたきめ細やかな学習を具体化する。教務内規の見直し整備によって本課程の教育システムの持続可能性を高める。 ②履修指導、面談、進路に関する説明会等の機会を活用して、生徒の進路意識を高め、自ら行動を起こせるように支援する。	<input type="checkbox"/> 卒業時の学校満足度の向上 90%	・今年度特に心配された進路指導面について、微増という結果であり、情報提供を含めて生徒の意欲喚起につながった。		【単位制による定時制の課程】 ①内規を改善し、生徒の履修条件等を周知した。高卒認定等を含めて、単位修得認定の制度を活用した卒業率の向上が望まれる。 ②年度後半において、様々な大学入試改革の予期しない変更が行われた。今後は正確な情報を的確に伝達し、生徒の進路実現につなげることが求められている。	
2	【通信制の課程】 ①生徒に行事や特別活動の取組をとおして、意欲的な学校生活、そして、自己実現を図らせたい。また、個に応じた教育相談体制の充実を進める必要がある。	①生徒の規範意識を向上させる。 ②社会的自立に向けた多様な学びの場を提供する。	①意欲的に学習や学校行事に参加できるよう、内容等を検討する。 ②昨年度設置した教育相談室を、さらに生徒に周知し、活用を進める。また、生徒に適切な対応ができるよう教職員研修を充実させる。	<input type="checkbox"/> マナーある行動、けじめのある学校生活を送っている生徒の割合 90% <input type="checkbox"/> 自分のよさや課題を理解し、自分の力を伸ばそうと取り組んでいる生徒の割合 60% <input type="checkbox"/> 特別活動 ・参加率 30% ・満足度 90% <input type="checkbox"/> 部活動 ・参加率 10% ・満足度 80% <input type="checkbox"/> 思いやりの気持ちを持ち、他の人に対する気配りができる生徒の割合 90%	マナーやおもいやり等の生徒指導面は良好な結果である。自己理解の向上は引き続き課題である。 ⑤マナーやけじめのある学校生活 98.1%(前年比+3.3) ⑥自己理解、力を伸ばす取組 67.9%(-1.1) ⑦学校行事参加率/満足度 32.1%(増減なし)/95.3%(+18.6) ⑧部活動参加率/満足度 17.7%(+2.4)/91.9%(+8.8) ⑨思いやり、気配りができる 94.7%(+4.2)	A	【通信制の課程】 ①体育的行事・文化的行事とも出席者が増加した。今後も維持発展させていきたい。 ②教育相談は適切に行われている。今後も個別の支援が求められる。	【通信制の課程】 ①体育的行事・文化的行事とも出席者が増加した。今後も維持発展させていきたい。 ②教育相談は適切に行われている。今後も個別の支援が求められる。
	【単位制による通信制の課程】 ①本課程の特色が対外的に十分認知されていない。また、保護者への積極的な情報提供が課題である。 ②学習サポーター、就職支援アドバイザー、教育相談員等の有効活用を継続することが必要である。		①入試情報について、学校説明会・個別対応・HP発信を充実させ、内容理解を周知する。 ②生徒の学習生活状況の情報交換を進め、問題行動の予防的指導を行う。教育相談員、SC、SSWとの連携を進めて、生徒の成長を促す。	<input type="checkbox"/> 特別活動 ・参加率 30% ・満足度 90% <input type="checkbox"/> 部活動 ・参加率 10% ・満足度 80% <input type="checkbox"/> 思いやりの気持ちを持ち、他の人に対する気配りができる生徒の割合 90%	⑤マナーやけじめのある学校生活 98.1%(前年比+3.3) ⑥自己理解、力を伸ばす取組 67.9%(-1.1) ⑦学校行事参加率/満足度 32.1%(増減なし)/95.3%(+18.6) ⑧部活動参加率/満足度 17.7%(+2.4)/91.9%(+8.8) ⑨思いやり、気配りができる 94.7%(+4.2)		【単位制による通信制の課程】 ①単通メールやHP等を活用して情報伝達の充実を行った。さらなる定着と、入学相談等での活用の充実を図ることが課題である。 ②体調不良生徒の対応や個別の教育相談での連携を改善した。今後も推進していくことが求められる。	
	【単位制による定時制の課程】 ①安心、安全な学習環境を確立するために全職員が理念と方策を共有して生徒指導を進める。 ②生徒への支援を充実させるために教育相談の一層の充実、地域の多様な人材との連携の向上を図る。		①「学びたい意欲」を大切にし、よりよい学習環境を実現するために全教職員が共通理解を持って指導にあたる。 ②地域や保護者への発信を積極的に行い、また、地域や学校内外の人材を活用し、充実した学びの場を提供する。	<input type="checkbox"/> 思いやりの気持ちを持ち、他の人に対する気配りができる生徒の割合 90%	⑨思いやり、気配りができる 94.7%(+4.2)		【単位制による定時制の課程】 ①年間を通じて指導事例はなかった。今後も情報共有を行いながら、生徒の指導を行っていきたい。 ②地域の人材活用や就職支援アドバイザー、SSWやSCの活用など、親身で地道な活動が行われた。引き続き生徒の課題解決に向けて教職員の研修を含めて、意識を高めていきたい。	

